

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
社会的養護 Social Care		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	岩城 淳	
概要				
<p>養護問題の史的展開や今日の特徴を踏まえ、社会的養護の基本原理や原則についての理解を深め、保育士として求められる資質や専門性について考察を深めることをねらいとして解説する。また、実習に向けた事前学習として「ペアレントトレーニング」「子どもの権利」「日本型社会的養育」を中心に構成していきたい。</p>				
到達目標				
<p>(1) 社会的養護の歴史、枠組み、法体系について説明することができる。 (2) 社会的養護の基本原理や原則について説明することができる。 (3) 社会的養護の今日的課題について、自分の考えや意見を述べることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：この講義の進め方 2 ペアとれ：①わかりやすく伝えよう 3 ペアとれ：②ABC 行動分析から見える行動の結果 4 ペアとれ：③誉め方のコツ～グッドサイクル～ 5 ペアとれ：④望ましい行動の習慣づけ 6 ペアとれ：⑤代替行動の強化 7 ペアとれ：⑥場面切り替えとふり返り 8 児童養護施設を知ろう「ETV 特集：つかさ 18 歳、人生を取り戻したい」 9 保育士の専門性とは 10 児童福祉施設とは 11 児童福祉法と児童の権利 12 虐待の理解 13 障がいの理解 14 社会的養護の歴史 15 まとめと視聴覚資料 				
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料			
メ ッ セ ー ジ な	<p>毎回、A4 サイズの資料を配布予定であるので、資料を保管するためのクリアファイル等を用意することが望ましいです。基本的には講義形式で行いますが、施設見学、視聴覚資料の活用、ディスカッションの場を随時設け、学びを深めていきたいと思っております。 保育士証：必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 社会的養護の歴史、枠組み、法体系について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	30%
(2) 社会的養護の基本原理や原則について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	30%
(3) 社会的養護の今日的課題について、自分の考えや意見を述べることができる。	社会的養護の現状と課題を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	社会的養護の現状と課題への認識の誤りや大きな論理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	社会的養護の現状と課題に対する認識の間違いがいくつかあり、誤字・脱字もあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	定期試験（知識・理解）	40%